

大分県のすがた(特集)

# こども の 社会

こどもの社会

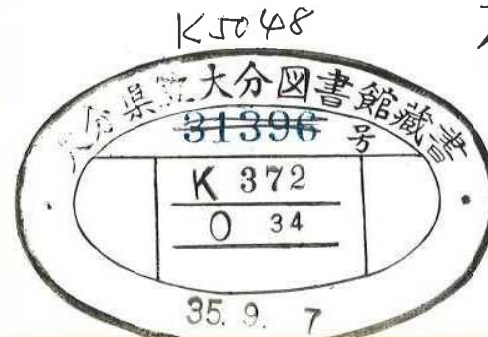
大分県立大分図書館



00003668316

大分県調査広報課

# こどもの 社会



K372  
034

## はじめに

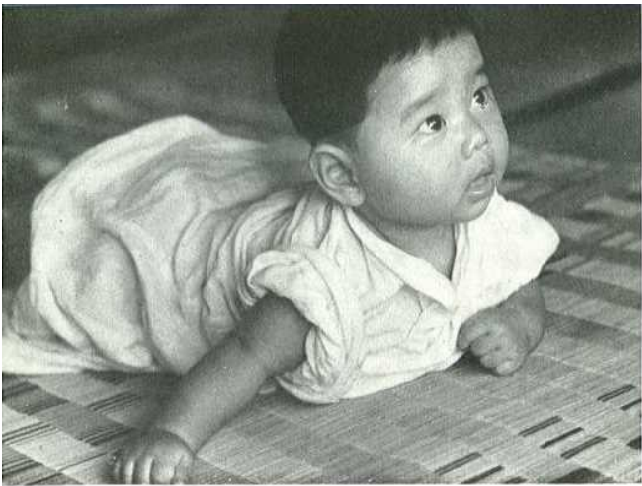
虚飾にみちた大人の世界にくらべ、こどもの社会は明るく希望に満ちている。

町の子、山の子、海の子、それぞれに住むところはちがい、まとう衣服は変わっていても、澄んだ眸だけは共通した輝きをもっている。このこどもたちに、旧憲法時代の古い人間関係は、自信のある行動をとらせなかった。反抗は悪徳で柔順やすなおさが美德だという考え方が社会を支配し、他人のやりはじめのを待つ消極的なこどもにしてしまった。

家庭のしつけにおいても、こども自身の将来の幸福につながる人間を育てるためのものではなかった。それは親たちの昔からうけついできた社会や生活慣習を、ただつがせるためのしつけであった。

しかし、戦後のこどもたちは、自分の力で行動する意志をもつようになってきた。筋の通らないことには納得しないし反抗もする。が、このようなことを、こどもたちとの矛盾の発見の場として考えてゆける家庭や社会であれば、正しい反抗は進歩のためによい役割を果たすのではないか。このこどもたちに、古い時代の人間象を理想の姿として押しつけてはならない。

ともあれ、新しい芽はさまざまな不安な矛盾の中にも、力強く育っている。私たちはこの新しい芽ばえを育てる水と光の役目を、正しく果たさねばならない。こどもたちの輝かしい未来を拓くために。



みつめるひとみに 自我の芽ばえがある

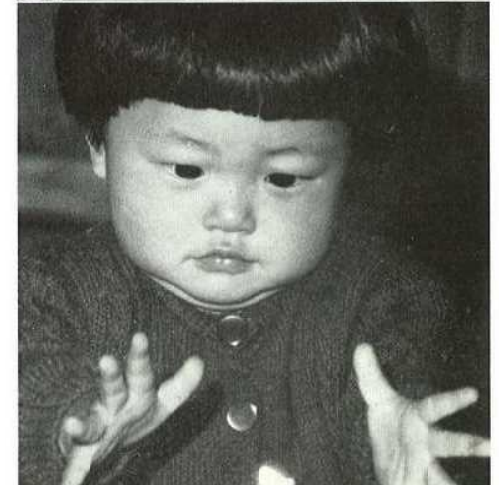
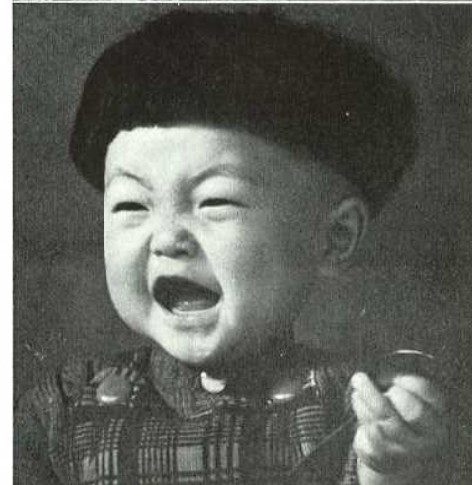
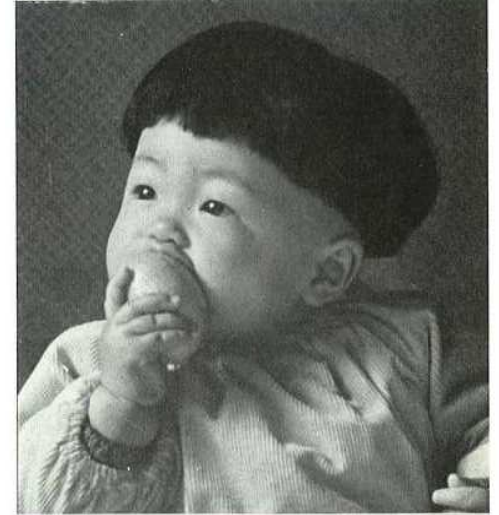
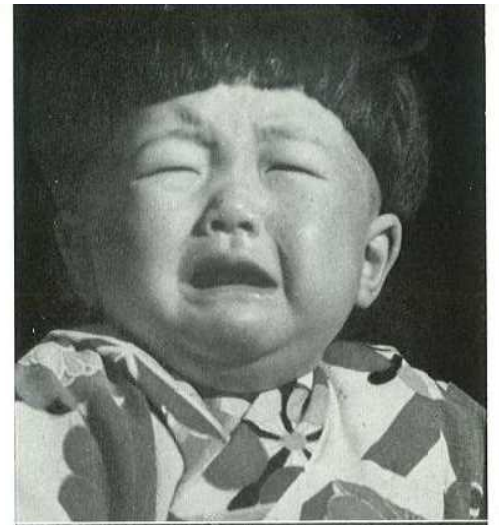
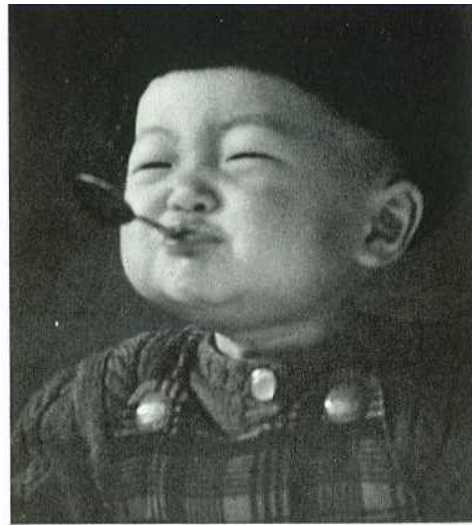
# 幼いのち

すべての児童は 心身ともに  
健やかに生まれ 育てられ  
その生活を保障される  
一児童憲章第一条

人間は何から生れたのだろうか……  
人間はふしぎだなあ  
字もかかれる ことばもいえる  
人間はだれがつくったのだろう  
上野小5年 高橋なち子



弟誕生 おかあさんに「おねえちゃん」と呼ばれて なんだか変だった



## 暮らしの中で



日焼けしたおかあさんの やさしく  
光る目 働らきぬいてきた おとう  
さんのガサガサした手  
それは みんな ぼくたちを 私た  
ちを 早くじょうぶに かしこく  
正しく 明るく 大きくなれと  
強く はげましてくれた その手だ  
やさしく 寝みまもってくれた  
その目だ



寒い日 リヤカーの片隅で



大根をきるひびきれた母の手

## こどもの広場

すべての児童は よい遊び場と文化財を用意され、わるい環境からまもられる

—児童憲章第九条

こどもは一人歩きできるようになると、仲間をもとめてたむろする。つかみあい、泣かし、泣かされるうちに、社会の規律を学ぶのだ。

あらゆる広場は遊びに利用され、路地、廃墟すらこどもはみのがさない。



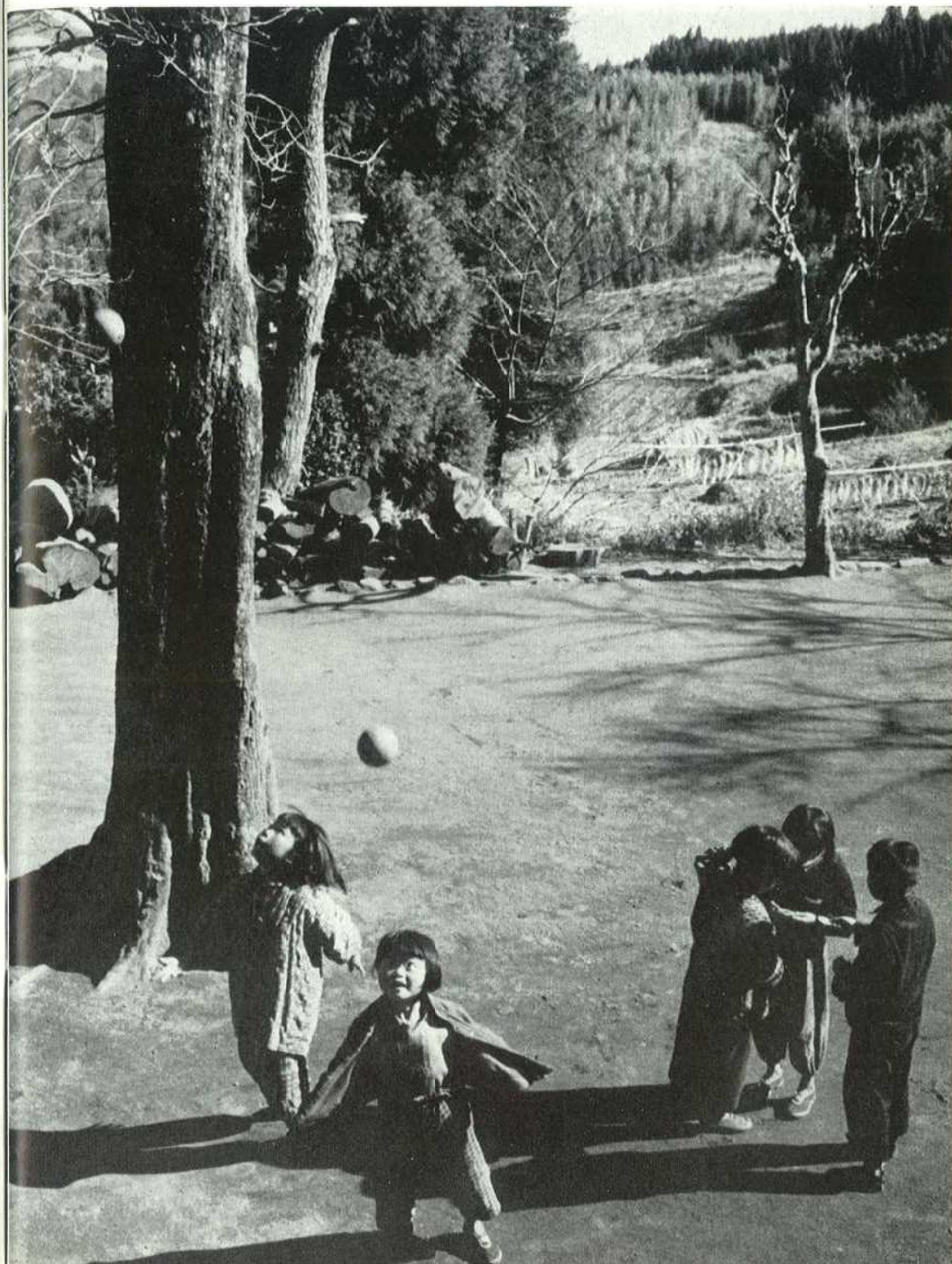
かみしばい

手まり唄

向う山寺 かねやたいこの音がする  
ああら 行きたや 参りたや  
行きたいけれども ベベがない  
姉さん ひとえ 貸してんか  
(大分市地方)



パッチン この一枚には夢と勝利感がある



特製のリボンはいい気持ち



なわとび  
みえちゃんと  
なわとびをして  
一 二 三とんだら  
うしろから  
牛がならんでできた

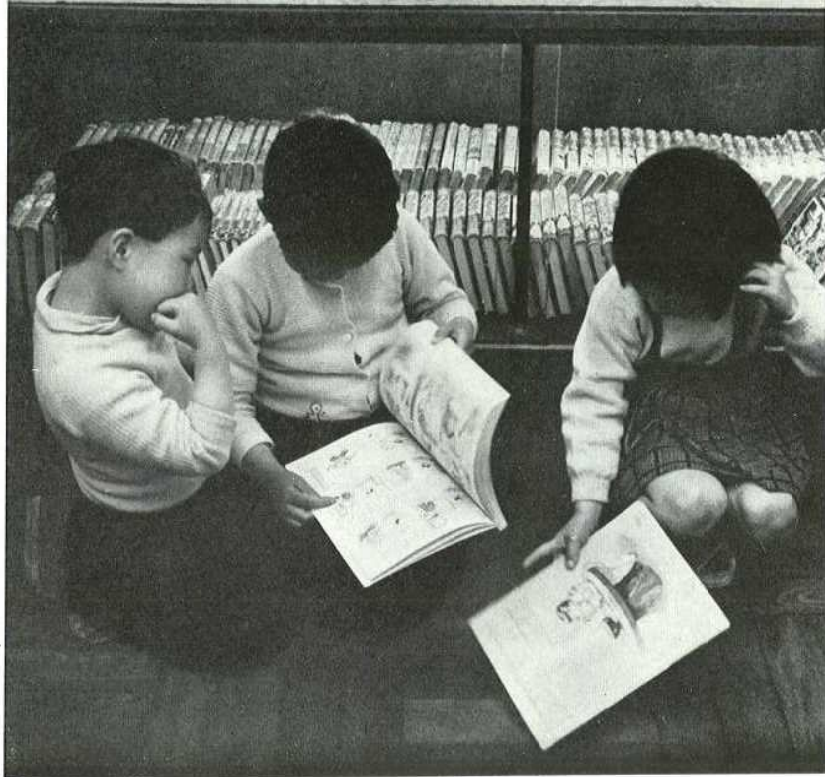
1年 つじかわ むつみ  
(「はとぶえ」から)



古びた三輪車もたいせつな自分のもの しっかりとほなさない



つよいものにあこがれる



漫画も童話も 白紙のよな心の中に どんどん浸みていく

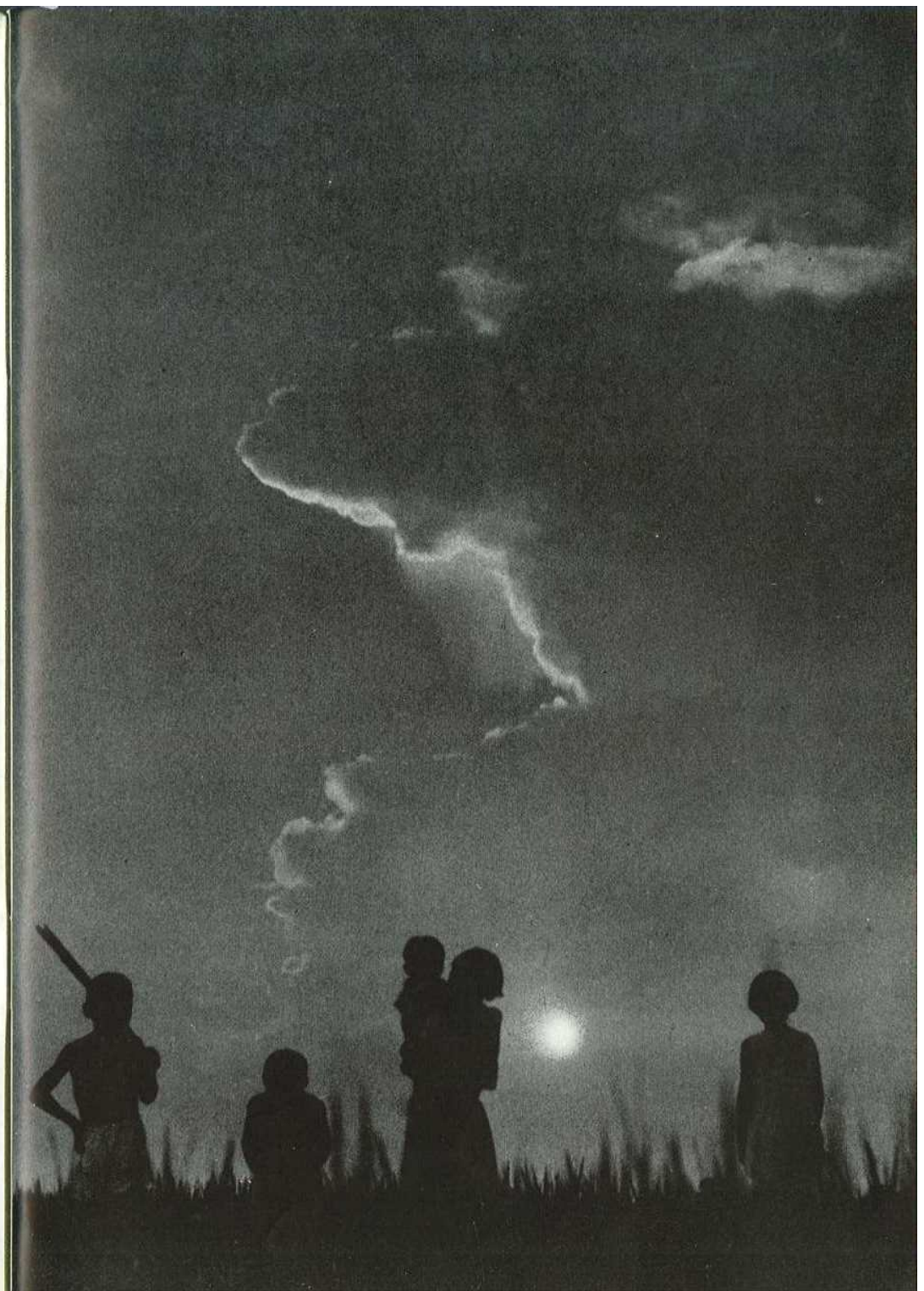


ちょっとむつかしいが 今に飛ぶぞ

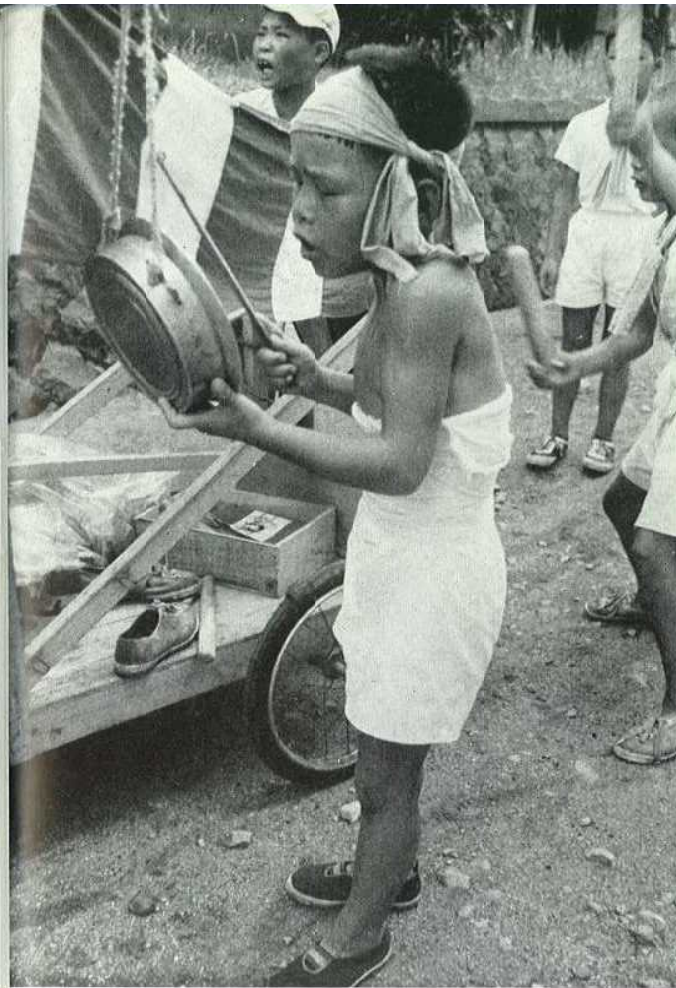
夕 日

夕日にむかって かえってくる  
 川からの てりかえしで  
 空のはてから はてまで もえている  
 みちばたのくさも ちりちり もえ  
 ほくたちの きものにも  
 夕日がとびうつりそうだ

(大関松三郎「山芋」から)



# お祭り



こどもは、単調な生活に満足できない。つねにぎやかさ、珍しさを探していく。

だからお祭りは、こどもたちにとっては、かけがえのない、楽しい一日なのだ  
10円玉をしっかりとぎって、店をさまようのもこどもの特権である。

ええと 10円でどれどれ買えるかな



兄ちゃん なに買ってくれる



夢のようにふくらむ 綿菓子



月光仮面もあるぞ



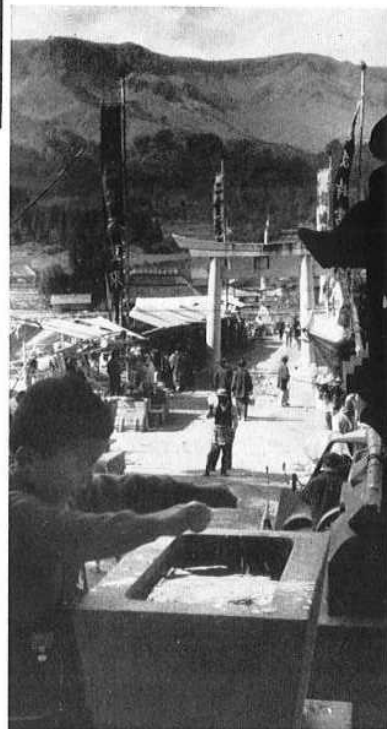


境内には旅の芝居がかかっていた

## 豊作まつり

ピーヒョラ、ドン  
となる笛たいこが、こども  
たちの胸をおどらせ、小さ  
な魂をゆさぶる。

だから凶作で祭りがとり  
止められたりすると、こども  
たちはおとなからうらぎ  
られたような気がしてさび  
しくなる。



稲かけがやとすんだ

「ことしゃあ たい風がこんで いいあ  
んばいじやった」

およめに行った姉さんと おかあさんが  
もちを作りながら言った

たんぼのぐろに のぼりが立って 今日か  
ら小倉神社のおまつり 汽車で森のおじさ  
んや大分からお客さんがきた

「ようおいで」お母さんは座ボタンを出  
す お酒をつける 年から年じゅうお母さ  
んはいそがしくて そんやなあ

# 幼稚園



幼稚園に通うこと  
とくに、大分県の幼  
34年度小学校入学者  
者は34.4%で九州第  
一位、全国で15位と  
なっている。  
大分市内は91%の

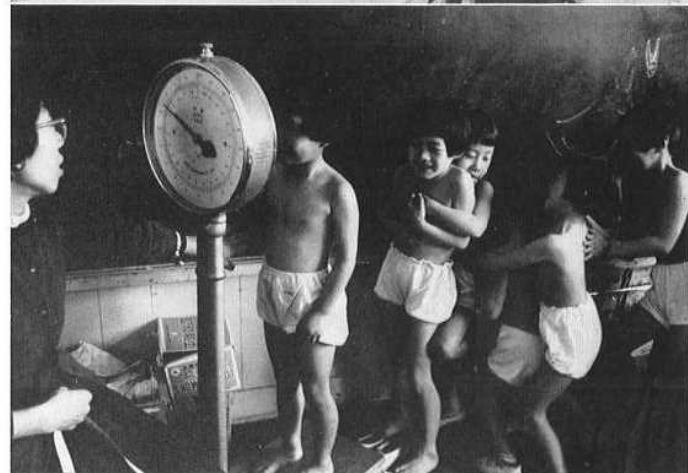
もは年々ふえてきた。  
稚園普及率は高く、  
のうち、幼稚園修了  
1位、全国で15位と  
高率である。



ひなまつり  
うわあい  
ほくのが  
いちばんようできたぞ



体操  
1  
2  
3  
……  
わあ  
空がきれいだ



身体検査  
こどもの体位は戦前以上に向上した



半年もたつと  
すっかり団体生活になれてくる



先生ともお別れ みんなに握手  
してくれた先生の手は 大きく  
てあたたかいな



びよこんと おじぎをしたら  
園長先生も にっこり



なにやら むつかしい字  
が よけい書いてあるわ

### もうすぐ一年生

おすべりだいも  
ぶらんこも  
おやねのぼっほもおわかれね  
わたしはもうすぐ一年生  
さよなら さよなら 幼稚園

# 学校で

すべての児童は 就学のみちを確保され また 十  
分に整った 教育の施設を用意される

—児童憲章第六条

学校だけではどんな無理をしても上げねばと、どの家  
でも教育についてはたいへん熱心だ。それだけこども  
の将来に対する期待は大きいわけだ。

しかしその期待の中に、親たちが果せなかつた立身  
出世の夢を託してはいないか。その結果小さなこども  
たちの肩に勉強、成績中心の重荷が過重にのしかかっ  
てくる。

こどもの成績が悪いと「妹の頭が悪いからだ」と姑  
は言う。「こどもを夫や婆さんのような頭の悪い人間  
にしたくない」と母親は思う。「百点ももらってこな  
ければ家に帰ってくるな」と母親はこどもをしかりつ  
ける。

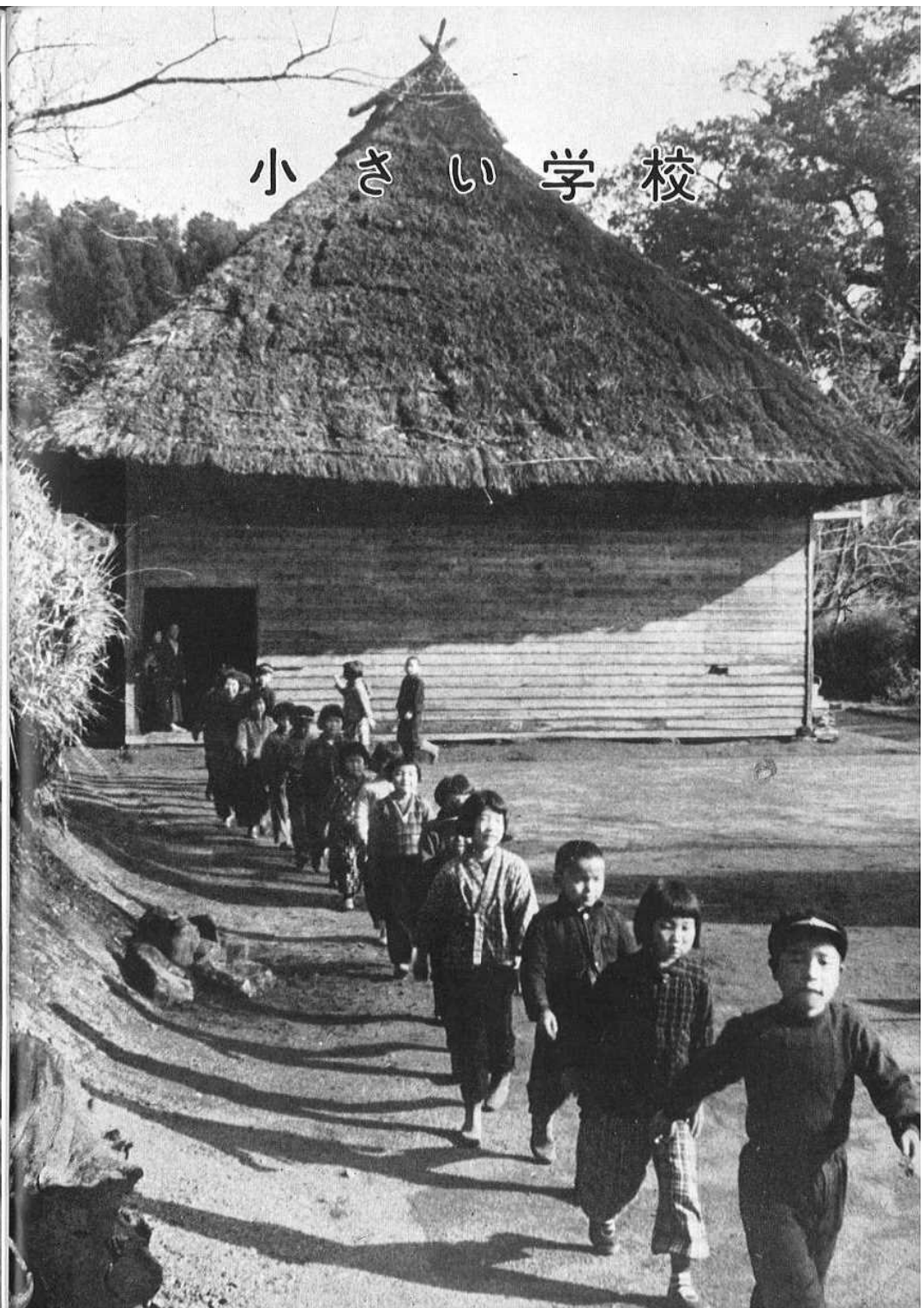
### 大分県の学校

|     | 学校数    | 児童生徒数    |
|-----|--------|----------|
| 小学校 | 本校 388 | 186,698人 |
|     | 分校 77  |          |
| 中学校 | 本校 206 | 85,726人  |
|     | 分校 1   |          |

大きい学校



小さい学校





熊笹の道はきつくてさびしい

山村や漁村の僻地には、わずか教人の生徒だけの分校も珍しくない  
先生はちょっとした医者や代書の仕事もやられる。

離島の分校に赴任するときは盲腸は手術してでかける。急病の場合問にあわないからだ。

かって都市の工場にやと就職できた子どもが、ライスカレーがどうしても食えなくて帰ってきたことがある。先生は就職のきまった子どもを自宅に呼んで、都会の食事に馴れさせるように気をくばっていると言う。

先生 宿題はよくできたでしょう



先生が3.4年生をおしえているあいだ 私たちはテストを考える



町の学校ではテレビ教室が設けられた



給

食

梅干しが まん  
中に2つ 学校  
に近いこどもは  
家にたべに帰る

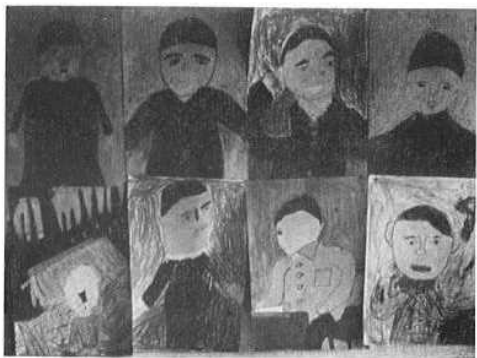
じゃがいも にんじん ごぼう  
ちくわ てんぷら 肉 ミルク  
バター ジャム こぶ ほうれ  
ん草 パン  
これだけみなたべたら栄養100%  
ばくみたいながりがりでも  
いっぺんに 100貫でふになるわ  
6年 辻 邦男



みんな同じようにくぼるのはむづかしい

学校給食状況 (35.2現在)

|               | 完全給食 |        | 補食給食 |       | 合 計 |     |         |     |
|---------------|------|--------|------|-------|-----|-----|---------|-----|
|               | 学校数  | 人員     | 学校数  | 人員    | 学校数 | %   | 人員      | %   |
| 小学校           | 151  | 99,302 | 21   | 9,483 | 172 | 45  | 108,785 | 55  |
| 中学校           | 14   | 4,109  | 2    | 722   | 16  | 8   | 4,831   | 6   |
| 定時制高校<br>(夜間) | 8    | 1,725  | 0    | 0     | 8   | 100 | 1,725   | 100 |
| 特殊学校          | 1    | 114    | 0    | 0     | 1   |     | 114     |     |



えんぴつ

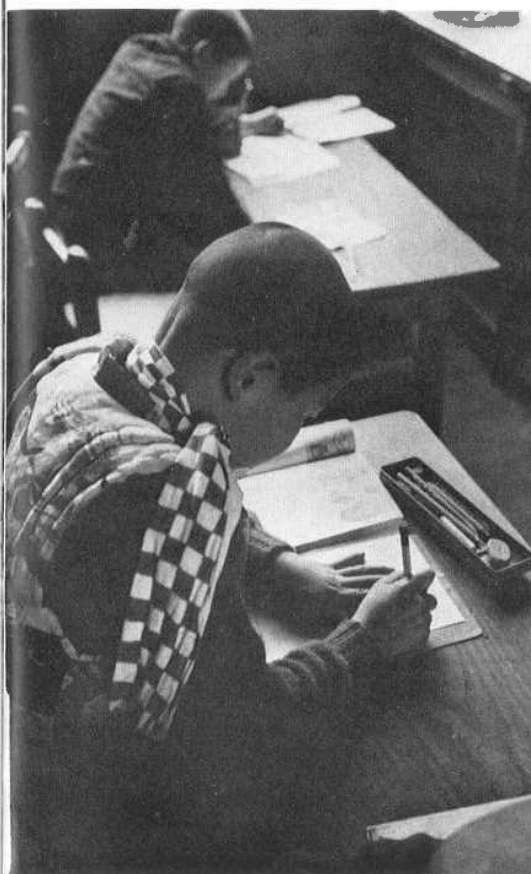
テストのとき えんぴつをわすれた  
 矢内に おれは  
 「かせ」と言った  
 矢内は  
 「かじらねばかす」と言った  
 おれは  
 「かじらねえ」と言った  
 矢内は「じゃあかす」と言った  
 問題がむずかしくなったのでおれは  
 思わずえんぴつをかじってしまった

加藤 房治

通信簿

おばあさんが  
 「仲子 いい点 とってきたかい」  
 と笑いながらいった  
 「さがっちゃった」  
 「おめえは子守りだからできなくて  
 しょうがねえ 百しょうの子にするだ  
 からいいだ」と ろばたで笑った  
 「かあちゃん通信簿見せてやろうか」  
 「いいよ おめえの通信簿見るとはらが  
 たつ」といって畑へでかけた

小皆 伸子





胸がどきどき 何も見えない

## 運 動 会

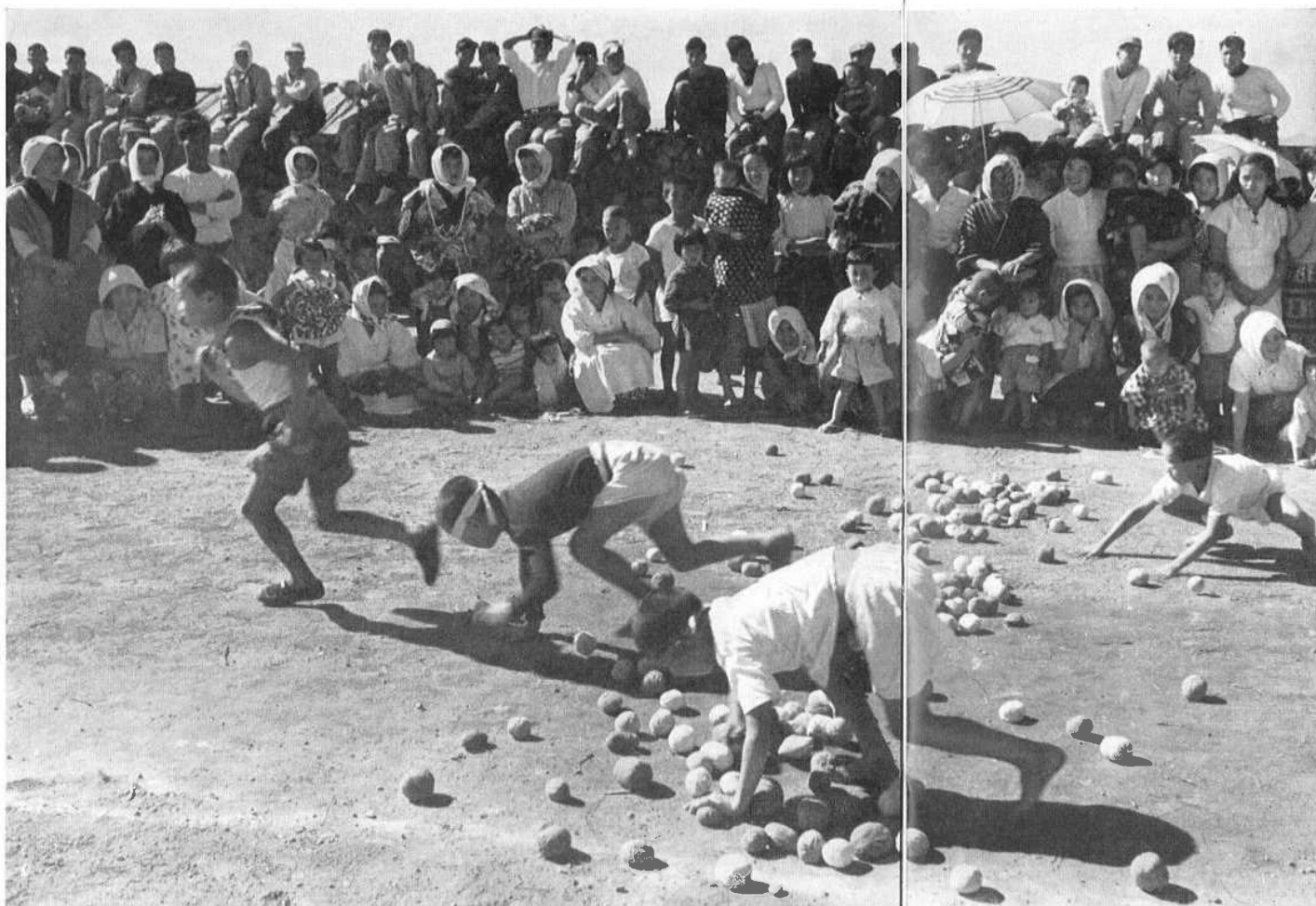
### 注 文 競 走

ようーい どん  
 走った  
 いままで 見えていたのに  
 よそのおっちゃんや  
 おぼちゃんの顔は消えた  
 決勝点についた時  
 後には だれも いなかった  
 だれと 走ったのか わすれた  
 鞆 房子（「あかがい」から）

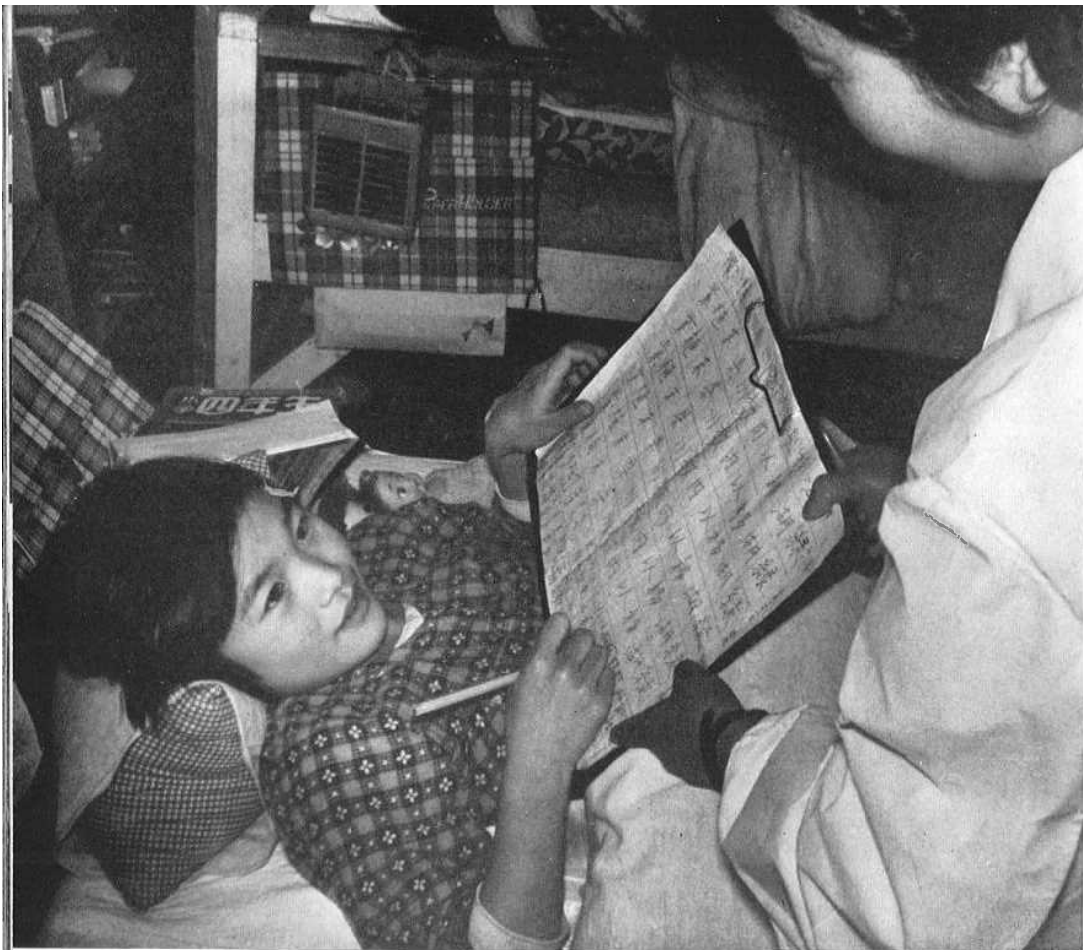


わしにちよったら 早えはずじゃが

今日は 漁に行っていたあんちゃんも 帰って応援してくれた







カリエスなのでベッドで学習です



いま県下には、結核の児童や生徒が約 3,000人もいる。小学生100人に対し 1.61人(全国平均0.95人)中学生 100人に対し 1.57人(全国平均0.68人)で全国平均をはるかに上回っている  
 国立石垣原病院には小学生42名、中学生13名が療養しながら勉強しているが、みんな明るくのびのびとはげましあっている

## 養護学級



寝たままの食事にもなれました

### かあちゃんえ

ぼくはだいぶん、びょういんになれました。このまえ手をすこしけがをしました。

ぼくのけがはえんぴつをけずるときので、いまはかんどふさんがけずってくれます。しんばいはいりません。

もうすぐよくなります。こんどきたときにひこうきのおはなしをしてあげます。こんどくるときおもちやをもってきてください。ではさようなら

石垣原養護学級 一年 たなべむねお

お家に帰れる日がきました この思い出はいつまでも忘れないでしょう

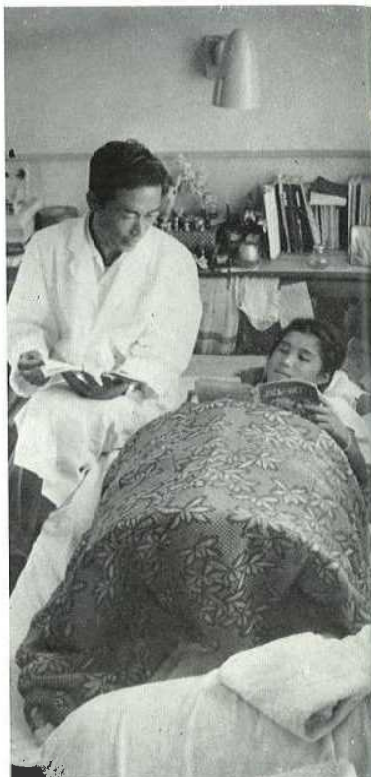




車イスにすがって 不自由とたたかう

## 整 肢 園

肢体不自由児は県下に約 4,000名いるといわれる。整肢園には現在91名が入園しており、いままで 276名が退園していった。



## 手 術

きょう僕の手術だ  
僕は行く前から胸がどきどきだ  
朝 そうじの時 姉長さんが「かくごはいい」と僕にいった僕は「うん」とへん事をした 注しやをして手術室に行った もうむねはドキドキしている  
看護婦さんが  
「堀君 何回もしているからおそろしくないでしょう」と言った  
看護婦さんが僕をつれに来た  
「さあ行くよ」と声をかけた  
堀 省 三 郎

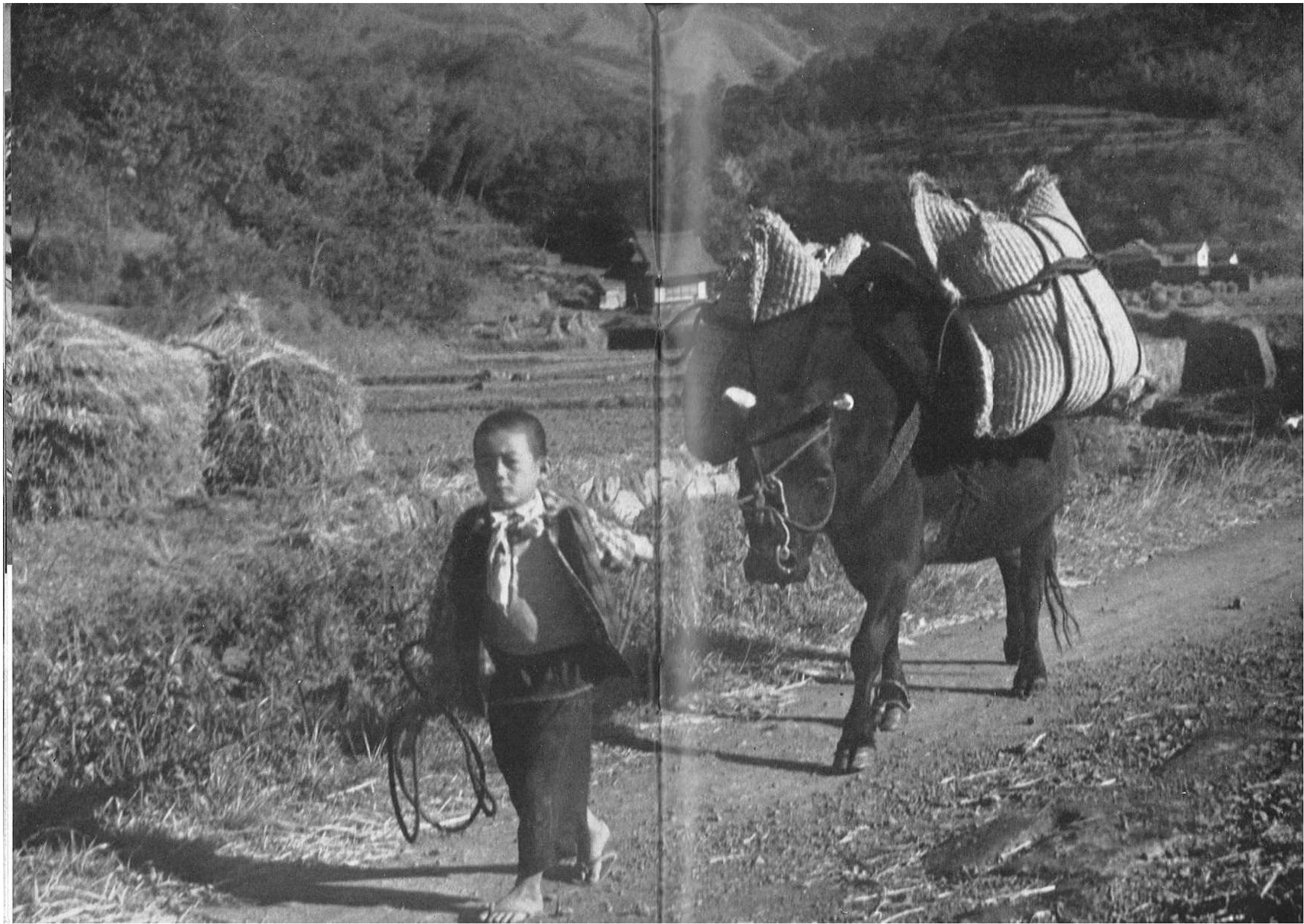


# 働らく

すべての児童は、その労働において、心身の発育が阻害されず、教育を受ける機会が失われず、また児童としての生活が、さまたげられないように十分保護される

—児童憲章第八条

新聞をくばる小、中学生は県下に約2,000人（全国は10万人）もいる。その中にはノート代、給食費など経済的な理由による家計の手だけが相当にある。そのうえ山の子は炭だわら運び、牛のせわ、そして海の子は網引きなどと、お手つだいというにはあまりにも厳しい労働をもっている。しかも中学生ともなれば、一人まえの働き手としてあつかわれる。





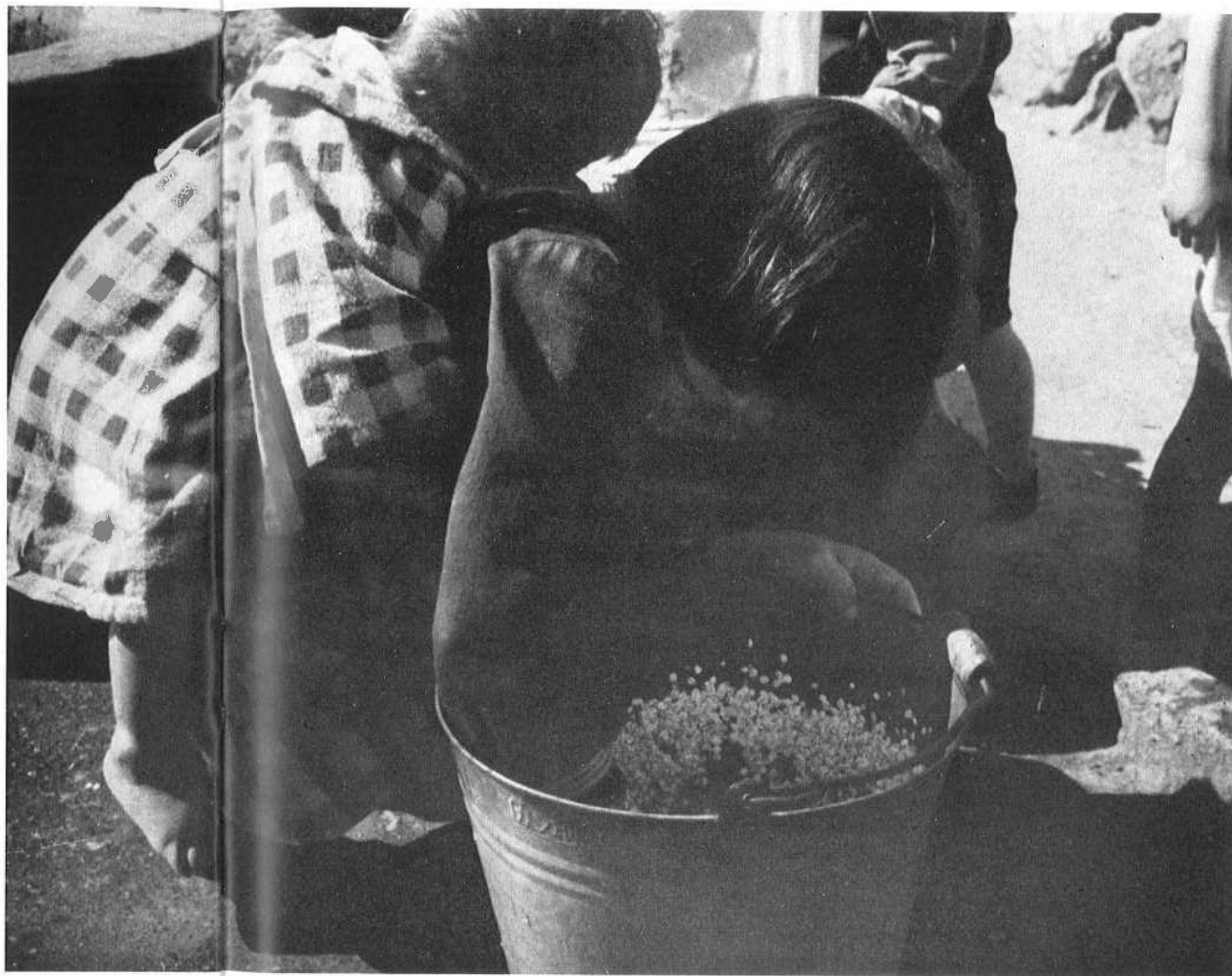
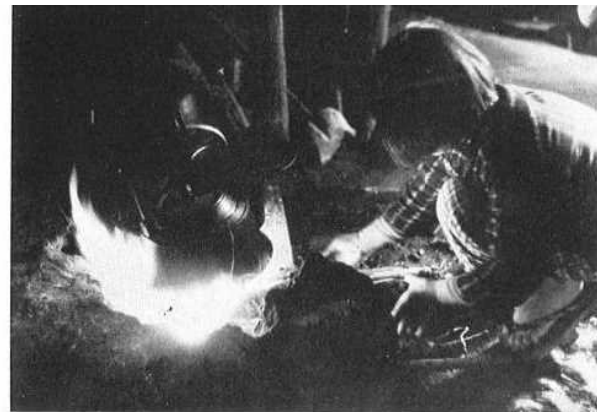
水は手ききむちうに冷たい



おかあさん はやう帰らんかなあ

米 洗 い

米をあらっていたら  
 花火のように むぎがうき上る  
 水をながしたら  
 めだかのように  
 むぎが流れた  
 瀬 房子（「あかがい」から）





かついで運んだら くびや背中がはじかいかった

## 農 村

### いねはこび

いっちゃんかたん  
 いねをはこんだ  
 いねをかついでとびよったら  
 かぶにつっかかって こけた  
 ようちゃんが  
 「しよわねえか」ちゅうた  
 「うん しよわねえ」というた

上野小2年 いわねよしのり



見よう  
見まねで



雨が降りそうになったんで「リヤカーひいて帰るよ」と言うと お父さんが「えらいのう」と言うた

きねは重たいけれど おかあさんが少しでもたすかる



牛にも 腹一ぱい食わしちよかんと……



牛の手入れは 僕の役目

## 山 村

毎日のように草刈り、いねかり、そしてかんらん出し。余く猶の手もかりたいぐらいの忙しさである。

僕は六年生だから時々手伝いをする。だが勉強が忙しくて5時頃でないと帰れない。おそく帰ると父のきげんが悪い。おそくとも仕事は手伝わされる。

僕が馬にはみをやっていると大きな声が出た。「はようせんか そしてふるをたけ」父の声である。僕はいやな気がし腹が立って来た。ふと空を見上げると「はらをたてるな」と言うように、夕日が雲を赤くそめ、美しくかがやいていた。

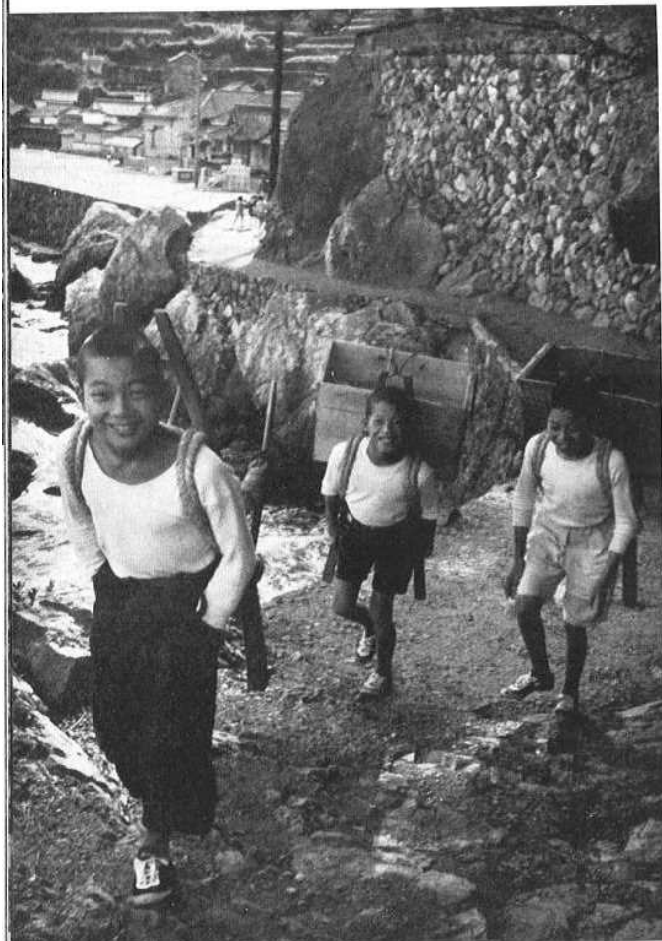
九重町朝日小 6年 杉山繁



## 漁 村



りょうがあまり思うようにないと  
おとうさんたちは  
炭坑や土方にいけます  
このまえ  
土方にいった  
かわいそうに  
死んでかえってきた人もありました  
大島小 4年 神崎芳男



学校からかえると すぐ肩へでかける

町



お好み焼き 20円  
 がなくうと 腹い  
 っぱいになるんや  
 キヤラメルくうよ  
 りましじゃ



新聞配達

もうすぐだ  
 あと十一枚  
 いそごう いそごう  
 あと三十分  
 しかし家はバラバラだ  
 あと三枚  
 あと十分

鳳校 6年 知場猛  
 (「はとぶえ」から)

# 未来への芽

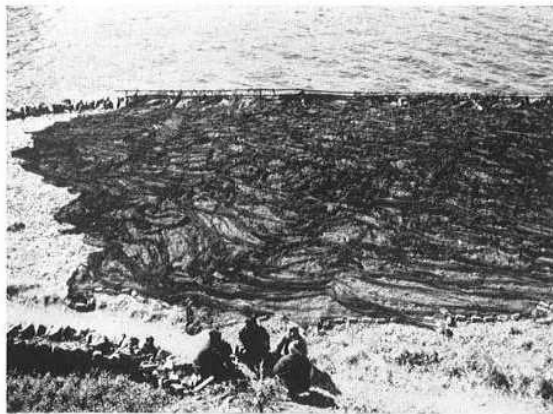
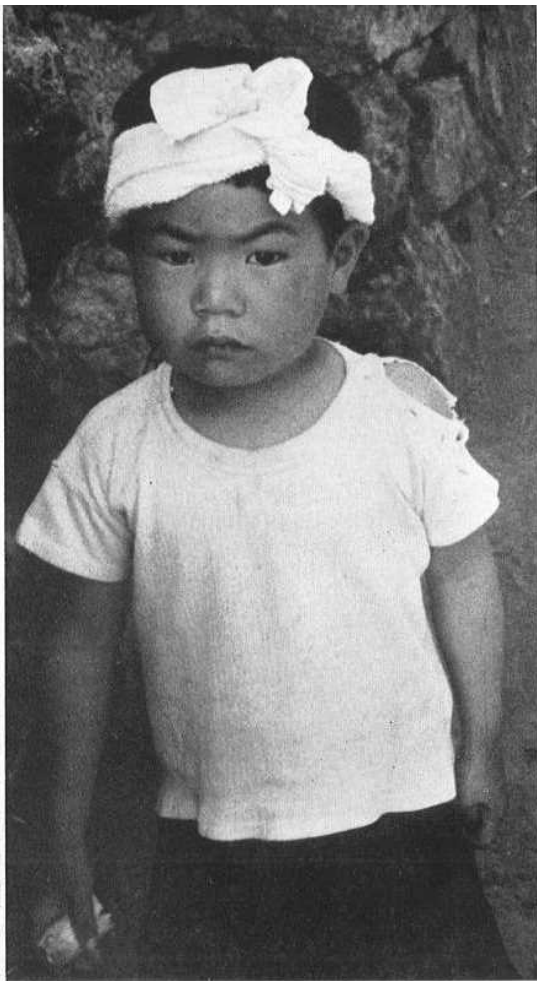
すべての児童は 愛とまことによって結ばれ よい国民として  
 人類の平和と文化に 貢献するように みちびかれる

—児童憲章第12条

子どもの胸は未来の夢でふくらんでいる。幼年期に一度「お嫁さん  
 になりたい」、「自動車の運転手になりたい」という願望を持つのが、  
 正常児だといわれている。次の表は、秋津郡森南部小学校6年2組の  
 子供たちの「なりたい職業」である。むかしの子供が、大臣大将を最  
 上のものと考えたのにくらべ、実に現実的になっている。

|       |         |        |         |       |        |
|-------|---------|--------|---------|-------|--------|
| 氏名    | なりたい職   | 永井 泰明  | 医者      | 麻生けい子 | 保育園の先生 |
| 穴井 弘徳 | 銀行員     | 小川 富貴雄 | 郵便配達夫   | 今本 敬子 | 看護婦    |
| 佐藤 幸人 | 会社員     | 木下 孝義  | 農業      | 松山 茂子 | パーマ屋   |
| 阿南 和男 | 銀行員     | 高倉 益雄  | 運転手     | 角井 房子 | 洋服屋    |
| 高井 貞隆 | 大工      | 大畑 和男  | 鉄道員     | 石松 富子 | 看護婦    |
| 松岡 能明 | 医者      | 中島三恵子  | 犬屋      | 小田原順子 | 店員     |
| 麻生 一成 | 機関車運転手  | 星本 正子  | 女工      | 工藤 一重 | バスガール  |
| 穴井孝次郎 | プロ野球の選手 | 茅岡シズ子  | 店員      | 有吉ちよ子 | 医者     |
| 神田 耕俊 | 医者      | 清水 勝子  | 無電技師    | 松山小夜子 | 体育の選手  |
| 佐藤 秀明 | 画家      | 武石 清美  | 看護婦     | 寺田美恵子 | アナウンサー |
| 坪井 昭徳 | 商人      | 佐藤 律子  | バスガール   | 斎藤美智子 | 店員     |
| 友成洋一郎 | 野球選手    | 長尾真知子  | 大きな店を開く | 星山 明子 | スチュウデス |
| 武口 光雄 | タラシ運搬車  | 友松 千秋  | スチュウデス  | 小幡政美子 | スチュウデス |
| 金子 康司 | 漁師      | 森 澄子   | パーマ屋    | 横山 恵  | 音楽家    |
| 穴井 幸雄 | 会社員     | 川原智恵子  | 会社員     | 長尾幸之助 | 教員     |
| 工藤 義頼 | 自衛隊     | 井上 裕美  | 幼稚園の先生  |       |        |



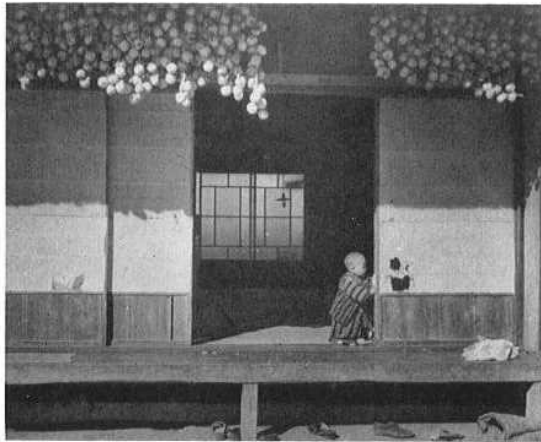


## 海の子

おんなの人たちは、畑はたります。田がなく、山のでっぺんまでぜんぶだんだん畑です。その畑においもがうえてありますそのおいもをくぶきというのに入れて、高いところへ、おんぶして帰ります。この、はこぶのはたいへんです。おばさんの話では、一日に二かいか四かいか、はこべないのだそうです。島にないお米や、ま、炭、やさいは、町から、かいいれます。

大島小4 深田恭子

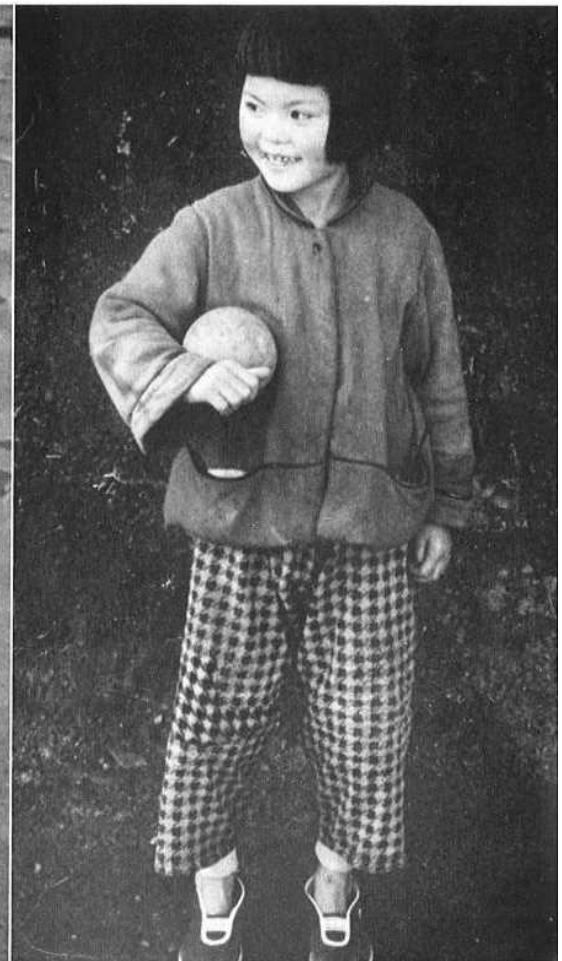
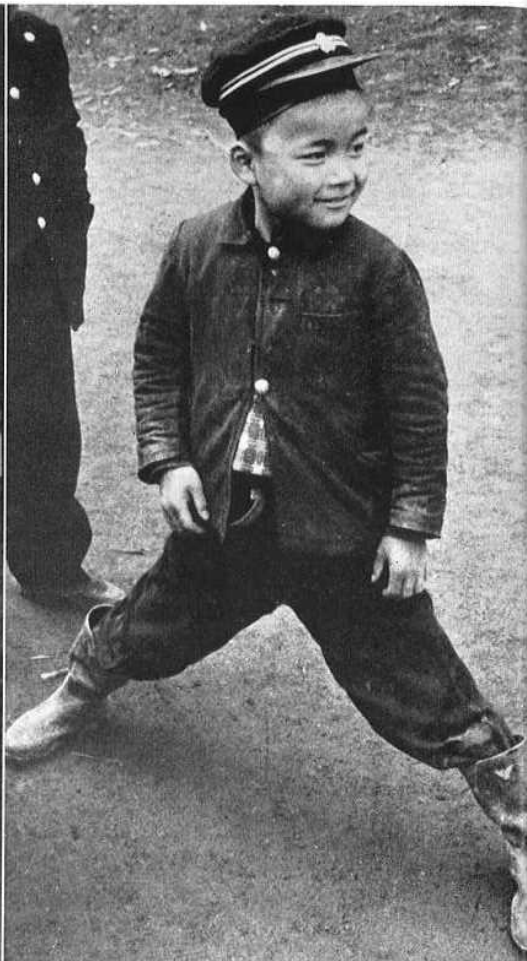




# 山の子

おれが学校からかえると  
 「おい光好お前かん野にいっち いもほっちこい」  
 とうらの馬屋の方からとうちゃんと呼ぶ声がした  
 「帰ったばかりにか」  
 「しれたこつそげなせいたくゆうもんじやね」  
 しかたがねえので おれはぶつぶつ言いながら  
 でかけていった

塚脇小岐部光好





## 開拓地の子

なんでもこうて  
テレビこうて  
西洋かんこうて  
ヘリコプターこうて  
自家用こうて  
なんでもこうて  
えらそうにしたい  
これは大層にならなあ あかん  
伯井欣司

## 町の子

家  
町のはずれに  
住宅がたちかけている  
「申込む」と母はいつている  
あたらならな  
母がつとめるのにも  
中学校へも近くなる  
あたらなかつたら  
これで四回目だ

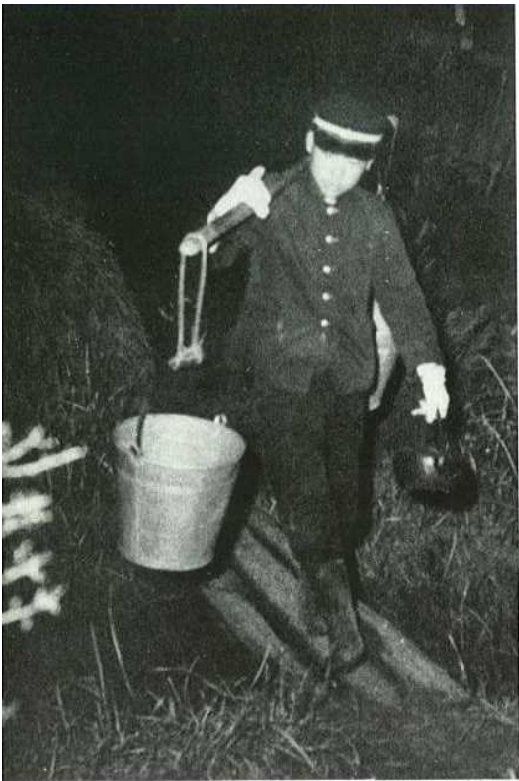
6年 崎原孝子

開拓地のこどもはすでに1人前の労働力としてあつかわれる。そしてこどもたちは不平をいわない。一家あげでの開拓魂が、被奪の未来を信じさせるからだ。山の道を学校から帰ってくると暗くなる。それで幼い児童は、大声でうたを歌いながらかえる。その声が山にこだまして、きっとお母さんが守ってくれるからだ。



雪に明け暮れる





水くみの仕事をすまし  
12Km先の中学校へ通う  
ついでに月に何べんか学  
校の近くにある精米所ま  
で玄米をかついで行く。  
この米が一家を支えてい  
る。



# 門出

かどて

卒業、就職、それは人生にとっての大きな段階である  
今年も中学卒業者の43%は早くも職を求めて、大人の社  
会へと門出していった。そして、その10%は働きながら  
進学する。しかし虚飾に満ちた大人の社会は、学校差や  
職業の差別感もまだ根深く、若い力の前には、悩みと困  
難が横たわっている。が、それでも彼等は、自分の進む  
べき道へ明るい瞳をむけて、決して夢を失わない。  
ほんとの人間の成長をめざして、

就 職 状 況 (昭35.3)

|     | 就職希望者  | 就職決定者  | 県外就職者  |
|-----|--------|--------|--------|
| 中学校 | 5,700人 | 4,540人 | 3,650人 |
| 高 校 | 3,300  | 1,440  | 850    |

県外就職先 阪神地区、中京地区、京都、東京  
北九州、岡山



いま巣立とうとする少年の脳りには  
何が秘められているのだろうか。  
喜びか、不安か、  
家族の愛情と祝福を一身にうけてい  
ま故郷をはなれようとしている。



忘れものはなかったかな



たき木とりに行った山 けんかをした登校の道も 今は思い出として



目 次

こどもの社会

幼いいのち 暮しの中で

こどもの広場

お祭り 豊作まつり 幼稚園

学校で

給食 運動会 養護学級 整肢園

働らく

農村 山村 漁村 町

未来への芽

海の子 山の子 町の子

開拓地の子

雪に明け暮れる

門出

昭和35年3月

発行 大 分 県  
編集 大分県総務部調査広報課

印刷 佐伯印刷株式会社  
大分市白銀町

主な取材地 大分市  
臼杵市佐志生  
津久見市日代  
長洲町  
鶴見村大島  
玖珠町大原野開拓地  
姫島村  
豊作まつり 九重町町田  
幼稚園 大分市金池幼稚園  
大分市大分 “  
小学校 大分市荷揚町小学校  
九重町准園小学校栗原分校  
九重町野上小学校後野上分校  
蒲江小学校屋形島分校  
津久見市保戸島小学校  
養護学級 国立石垣原病院養護学級  
整肢園学級  
門 出 大阪市大西メリヤス会社に就職し  
た阿南春人君（三重町）

取材にあたって何かと御便誼をいた  
だきました多くの方々へ厚くお礼を  
申し上げます。